

参考情報(サステナニュース)

2026年7月23日



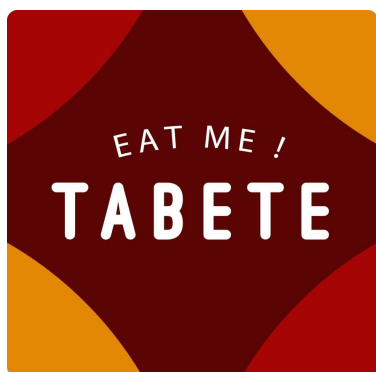
報道関係各位

株式会社ファミリーマート

日本最大級のフードシェアリングアプリ 「TABETE」と食品ロス削減の実証実験開始！ ～約2,500トン削減の『涙目シール』と連携！～

株式会社ファミリーマート(本社:東京都港区、代表取締役社長:小谷建夫)は、2026年9月に創立45周年を迎えます。継続して取り組んできた5つのキーワードを土台とし、「いちばんチャレンジ」を合言葉に活動をしていきます。

このたび「いちばん環境にやさしい」を目指した取り組みとして、日本最大級のフードシェアリングアプリ「TABETE」と、昨年約2,500トンの食品ロスを削減した「涙目シール」が連携した食品ロス削減の実証実験を、2026年7月23日(木)から東京都内の6店舗で順次開始いたします。



■ 日本最大級の「TABETE」で、店外からリアルタイムでおトク状況を確認し、おいしく社会貢献
このたび導入する「TABETE」は、国内の食品ロス削減アプリとして最大級の会員数(約132万人)を誇るフードシェアリングサービスです。対象となるのは、まだ十分においしく安全に食べられるのに、消費期限が近づいたおむすびや弁当などの商品です。店舗は、「涙目シール」を貼付し値下販売を行っている商品を「TABETE」アプリに登録することで、店外にいるお客さまがアプリを通じて購入することができます。お客さまにとっては、おトクでおいしい食事を楽しみながら、スマホ一つで気軽に社会貢献へ参加できる極めて有益な体験です。一方の店舗にとっても、食品ロスを効果的に減らせる画期的な仕組みです。

■ スマホで選んで店頭で受け取るだけの簡単ステップ

＜ご利用の流れ＞

- ①画面上で商品を選択
- ②アプリ上で決済
- ③店頭で画面を提示して受け取り



①画面上で商品を選択



②アプリ上で決済



③店頭で画面を提示して受け取り

画面イメージ

<対象店舗>

2026年7月23日(木)以降、順次開始予定

店舗	住所
ファミマブルーフロント芝浦S棟店	東京都港区芝浦一丁目1番1 ブルーフロント芝浦S棟3階
ファミマ豊洲ベイサイドクロス店	東京都江東区豊洲二丁目2番1号
ファミマ東京ガーデンテラス店	東京都千代田区紀尾井町1-2
ファミマハレザ池袋店	東京都豊島区東池袋1丁目18-1
ファミマ新宿三井ビル店	東京都新宿区西新宿2丁目1-1 新宿三井ビル
恵比寿ガーデンプレイス店	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー1階

【株式会社コークッキング 代表取締役 川越 一磨氏のコメント】

実証実験スタートまで歩を進められることを大変うれしく思います。コンビニで気軽に食品をレスキューできる体験が広がれば、食品ロス削減は特別な行動ではなく『日常の選択肢』になると考えております。店舗様のオペレーション負荷を最小限に、食品ロス削減に取り組める仕組みづくりを進めて参ります。

【TABETEについて】

「TABETE」は、パン・ケーキ店、ホテル、飲食店、スーパーなどで、まだおいしく安全に食べられるのに「食品ロス」の危機にある食べものを、ユーザーとマッチングするアプリです。「フードシェアリング」と呼ばれるこの仕組みを通じて、お店は無駄を減らして売上を確保し、ユーザーはお得においしい食事を楽しみながら社会貢献ができます。持続可能な食の循環をつくることで、すべての人が心地よく関われる“やさしい消費のかたち”を応援しています。

ユーザー数: 約132万人

掲載店舗数: 約3,400店舗(2026年7月現在)

■お客さまとともに食品ロスを削減する「涙目シール」

「涙目シール」は、値下シールに「たすけてください」というメッセージと「涙目」のキャラクターを添えた、ユニークなコミュニケーションツールです。単なる値下金額の表示だけではなく、お客さまの心へ直接語りかけ、共感の輪を広げながら一緒に食品ロス削減に取り組むことを目指しています。実証実験にて購入率が向上することを確認し、2025年3月より全国展開をスタート。「思わずたすけたくなった」といったお客さまからの温かいお言葉も寄せられ、結果として1年間で約2,500トンもの食品ロス削減に貢献しました。



今回の試みは、店頭で生まれたこの温かい共感を「店外」へと広げる新たな一歩です。日本最大級のフードシェアリングアプリ「TABETE」と連携し、消費期限が迫った商品の情報を、スマホを通じて多くのお客さまにお届けすることで、「おトクに、おいしく」食品ロス削減に参加いただける体験をご提供します。

■ 2030年50%削減へ。「ファミマecoビジョン2050」の挑戦

ファミリーマートは、環境の中長期目標「ファミマecoビジョン2050」を策定し、店舗における食品ロスを2018年比で2030年に50%、2050年に80%削減することを目標に掲げ、積極的な活動を推進しています。これまで、商品包装の改良によるロングライフ化や発注精度の向上、「てまえどり」の継続実施、消費期限の迫った中食商品の値下販売、さらに「涙目シール」の展開などに取り組んできました。今後も、今回の連携のような新たな可能性へファミリーマートらしく積極的にチャレンジし、持続可能な食の循環を目指してまいります。



▼ファミリーマートの食品ロス削減の取り組みについてはこちらから

食品ロス削減の取り組み：

https://www.family.co.jp/sustainability/material_issues/environment/circulation.html

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

<参考情報>

◆「いちばんチャレンジ」に込められた思い

ファミリーマートは、2026年9月に創立45周年を迎えます。

時代の変化に合わせ、コンビニの枠を超えてお客さまに「いちばん」と選ばれる存在であり続けるため、私たちは「あなたのいちばんをたくさん作る『いちばんチャレンジ』」を新スローガンに掲げました。

この合言葉のもと、「おいしい」「ちょっとおトク」「わくわく楽しい」「ステキが見つかる」「革新的・最先端」「環境にやさしい」「働きたい」「地域に愛される」という8つの分野に基づき、ファミリーマート史上最大の挑戦を続けてまいります。

45周年特設サイト: https://www.family.co.jp/campaign/spot/2026_45th.html

以上